



赤い羽根共同募金運動

令和3年度事業報告

～ つながりをたやさない ～

“コロナ禍での共同募金運動”



(令和3年度静岡県版ポスター)

社会福祉法人静岡県共同募金会

目 次

第1部 概 要

1 募金状況 -----	1
2 助成状況 -----	1

第2部 事業実施状況

第1 募金活動

1 社会的ニーズの把握 -----	3
2 助成要綱の制定 -----	3
3 助成申請の受付 -----	3
4 助成計画の策定と目標額の設定 -----	3
5 広報活動 -----	4
(1) 県民全体への広報 -----	4
(2) ホームページによる広報 -----	5
(3) 報道機関への協力依頼 -----	6
(4) 地元サッカーチームの広報協力 -----	7
(5) 赤い羽根バルーンによる広報協力 -----	7
(6) 静岡県による広報協力 -----	7
(7) 静岡県社会福祉協議会による広報協力 -----	7
(8) 若者向け「壁新聞」制作プロジェクト -----	7
6 寄付依頼活動(募金活動) -----	8
(1) 赤い羽根共同募金 -----	8
① 一般募金 -----	8
② 課題解決プロジェクト募金 -----	11
(2) 地域歳末たすけあい募金 -----	12
(3) NHK 歳末たすけあい -----	12
7 新しい募金手法による寄付の受入(年間を通した寄付) -----	12
(1) 社会貢献型自動販売機による寄付 -----	12
(2) 物品による寄付 -----	13
(3) 寄付つき商品による寄付 -----	13
(4) ネット募金 -----	14
(5) 中央共同募金会受付の寄付(静岡県分) -----	14

第2 助成活動

1 共同募金による助成 -----	16
2 緊急等助成資金による助成 -----	17
(1) 災害ボランティアセンター設置・運営費助成 -----	17
(2) 災害ボランティア活動用機器整備事業 -----	17
(3) 新型コロナ対策フードバンク応援事業 -----	17

(4) 伊豆山地区復興コミュニティ支援事業	17
3 助成効果の測定と実地監査の実施	17
(1) 市町社会福祉協議会による地域福祉活動	18
(2) 福祉施設機器整備(修繕含む)	18
(3) 広域活動団体による地域福祉活動	18
第3 新型コロナウイルス感染症への対応	
1 コロナ禍での共同募金運動	19
(1) コロナ禍での目標額(助成計画)の設定	19
(2) 共同募金運動における感染症対策ガイドラインの改訂	19
(3) 令和2年度共同募金による市町社会福祉協議会の地域福祉活動事業	19
2 新型コロナ対策全国キャンペーン参加事業	20
(1) 新型コロナ対策フードバンク応援事業	20
(2) 新型コロナ対策いのちをつなぐ支援活動事業	20
第4 その他の活動	
1 災害等準備金の状況	22
2 災害義援金の状況	22
3 共同募金以外の特定寄付金、指定寄付金の受入れと助成	23
4 他団体助成事業の受託事務	23
5 顕彰活動	24

第3部 法人運営

第1 会務の運営	
1 理事会	25
2 評議員会	27
3 監事監査	27
4 評議員選任・解任委員会	27
5 配分委員会	27
6 本会開催の会議等	28
第2 その他の会務の運営	
1 関係機関との連携	29
2 共同募金運動募金経費	29
3 社会福祉法人指導監査	29
第3 社会福祉法人静岡県共同募金会役員等名簿	30



第1部 概要

長引くコロナ禍での“赤い羽根”共同募金運動

“赤い羽根共同募金運動は、昭和22年に国民一人一人が助け合いの精神で取り組む「国民たすけあい運動」として開始され、募金ボランティアの尽力により、これまでの75回の運動で、静岡県内の寄付金総額は約314億円、助成総額は約277億円に上り、それぞれの時代における福祉課題を解決してきた。

近年、社会貢献活動の多様化等に伴い、募金額は平成7年度をピークに減少を続け、課題も大きくなっている。一方で地域福祉課題が多様化、複雑化しており、新型コロナウイルスの影響により苦しむ人々への支援をはじめ、制度外ニーズへの対応が求められており、“赤い羽根”が果たすべき役割は大きい。

1 募金状況

令和3年度は、令和3年9月17日付け厚生労働省告示第338号により、令和3年10月1日から翌年3月31日までの6カ月間、目標額を5億4000万円に定め、県内全域で運動を展開した。

令和3年度は、長引くコロナ禍の影響により従来の運動方法が制限されるなど苦しい運動となったが、感染症対策を徹底し、多くのボランティアの皆さんとともに安全で安心な運動に努めた。

募金活動では、前年のコロナ禍での運動の経験を踏まえ、戸別募金を中心に丁寧な説明を行うとともに、法人募金ではダイレクトメールの活用、そのほか課題解決プロジェクト募金、ネット募金、寄付つき商品(募金百貨店)、寄付物品の受入など新しい募金手法にも積極的に取り組んだ。

その結果、近年減少が続いていた募金額は、対前年比101.3%と10年ぶりの増加に転じ、予想以上の5億1554万円余を確保、まさにこのような時だからこそ苦しんでいる方々を支援しようという、多くの県民の皆様の思いやりに満ちた「利他の心」が結実した運動となった。

区分	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	前年度比較	
				増減額(円)	比率(%)
一般募金	338,976,000	312,732,868	92.3	2,742,450	100.9
(うち課題解決 プロジェクト募金)	(6,004,000)	(4,758,168)	(79.2)	(▲1,799,421)	(72.6)
地域歳末たすけあい募金	180,106,000	181,047,206	100.6	1,255,485	100.7
NHK歳末たすけあい	20,918,000	21,762,659	104.1	2,548,518	113.3
合計	540,000,000	515,542,733	95.5	6,546,453	101.3
前年度	540,000,000	508,996,280	94.3	▲19,707,263	96.3

(市町共同募金委員会別の実績額は別冊統計資料 5～9ページ)

2 助成状況

「つながりをたやさない社会づくり～あなたは一人じゃない～」を全国共通助成テーマに、高齢者を支える仕組みづくり、障害者が地域で生活するための福祉施設の機器整備、こどもを虐待から守る取り組み、ひきこもりからの回復を目指す取り組み、コロナ禍での生活困窮者を支援する取り組みなど、多様なニーズに即した助成を行うとともに、募金額の3%を災害対応のために積み立てた。

その結果、助成実績は306件、4億6635万円余となり、コロナ禍に苦しむ人々への支援も含め、福祉関係団体等の幅広い要望にすべて応えることができた。

区分	助成 件数	助成額(円)	前年度比較		
			増減数	増減額(円)	比率(%)
一般募金	213	272,689,018	▲68	▲7,580,323	97.3
地域歳末たすけあい募金	34	175,220,333	1	762,899	100.4
NHK歳末たすけあい	59	18,444,000	▲6	▲2,273,000	89.0
合計	306	466,353,351	▲73	▲9,090,424	98.1
前年度	379	475,443,775	83	7,278,145	101.6

(助成実績は別冊統計資料 14～42ページ)



第2部 事業実施状況

近年、地域福祉課題が多様化、個別化、複雑化しており、新型コロナウイルスの影響により苦しむ人たちへの支援をはじめ、制度外ニーズ、社会的孤立への対応が求められている。また、社会貢献活動の多様化等に伴い募金額が減少するなど、課題も大きくなっている。

そこで、さらなる赤い羽根共同募金運動の推進を図るため、令和3年度は次の5本柱(重点方針)に沿って活動を展開した。

1 地域福祉課題の多様化へ対応するための助成メニューの充実

既存の制度やサービスでは対応できない多様な地域福祉課題を解決するため、中央共同募金会が行う全国キャンペーンに呼応した「コロナ禍で苦しむ人たちを支援」する助成メニューを創設するなど、人に寄り添う“赤い羽根”らしい助成メニューを充実する。

- コロナ禍に苦しむ人々たちへの支援
- 「地域共生社会」の実現のための助成
- こどもを孤立から守るための助成

2 寄付者の多様な意向に応えるための寄付方法の提案

- 募金増額に向け、「使いみちの見える化」により戸別募金の増強を図るとともに、課題解決プロジェクト募金、インターネット募金や遺贈・相続寄付など、新しい募金手法に挑戦する。
- 社会貢献に関心を寄せる企業に対して、地域共生社会づくりにつながるSDGsの趣旨に即した寄付、寄付つき商品(募金百貨店)、物品寄付、社会貢献型自動販売機設置、企業や従業員からの寄付など、寄付者の多様な意向に適切に応える寄付の方法を提案する。
- 感染症ガイドラインに基づいた安全・安心な募金活動を行う。

3 頻発する災害への対応力強化

近年、頻発する地震や風水害等の災害を受けて、災害への地域の対応力を強化するため、災害等準備金、緊急等助成資金を活用した災害ボランティアセンターに係る助成をはじめ災害義援金の募集など、被災地支援の充実強化を図る。

4 積極的なPR活動の推進～赤い羽根の知名度活用～

赤い羽根ロゴマーク・キャラクター等の活用、助成メニューへの“赤い羽根”の冠化、広報用DVDの活用、マスコミへの資料提供など、「赤い羽根」の知名度を活用した積極的な広報に努める。

5 社会福祉協議会との連携強化による組織の活性化と開かれた組織の推進

- 募金活動及び助成活動で大きな役割を果たしている県及び市町社会福祉協議会との情報交換を密にして、共同募金運動の活性化や運用改善に取り組む。
- 運動性の再生を図るため、自らも機能強化を図るとともに、市町共同募金委員会の組織の強化などを支援する。
- 経営組織のガバナンス強化、事業運営の透明性を図り、寄付者に信頼される開かれた共同募金会を目指す。



第1 募金活動

共同募金は、地域福祉活動を進めるため、あらかじめ使いみち(助成計画)や目標額(募金計画)を定め、行う計画募金である。そのため社会的ニーズに即した助成要綱を定め、広く要望を取りまとめたうえで、助成計画及び募金目標額を定めて募金活動を展開した。

1 社会的ニーズの把握

(1) 県及び市町社会福祉協議会との連携

- ① 共同募金の実施に先立ち、静岡県社会福祉協議会に対して、社会福祉法第119条の規定に基づき、目標額、助成の範囲等に対する意見を求めた。
- ② 市町社会福祉協議会は、地域福祉活動の主たる実施主体として地域福祉活動計画等を定め地域ニーズに即した活動を積極的に展開しており、活動財源としての共同募金の役割も大きいことから、常に連携を図り共通認識の形成に努めた。

(2) 助成施設団体等との意見交換

助成先が抱える福祉課題について、共同募金の助成を通じて課題解決が図られるよう、実地調査等の際に意見交換を行い、現状と将来展望の把握に努めた。

(3) 行政機関との意見交換

最近の行政施策の動向、施設整備等の補助制度の内容等について、行政機関と意見交換を行い、公的支援制度で対応できない諸課題について情報収集に努めた。

2 助成要綱の制定

助成要綱は、共同募金運動の基礎となるものであるため、社会的ニーズに合わせて見直し(既存メニューの修正、新規メニューの追加など)を行い、助成基準の明確化、助成事例の例示など寄付者と助成先の双方に分かりやすい内容とした。

また、透明性、客観性、公平性を確保するため、助成対象となる活動主体、内容、対象経費等の助成条件、応募方法、審査方法等について、配分委員会の意見を踏まえたうえで制定した。

3 助成申請の受付

助成申請の募集では、助成情報の広報に努め、偏りのない幅広い助成先の掘り起こしに努めた。

主な申請受付期間	令和3年4月1日(木)～5月14日(金)
----------	----------------------

(広報方法)

- (1) 助成要綱・要領を広く県民が閲覧できるよう、ホームページで公表
- (2) 市町社会福祉協議会、社会福祉法人、特定非営利活動法人等に助成案内を直接送付
- (3) 静岡県ボランティア協会、静岡県社会福祉協議会、男女共同参画センターあざれあ、ふじのくにNPO活動支援センターに、ホームページ及びメールマガジンなどへの掲載依頼
- (4) 各市町共同募金委員会ではそれぞれの地域で助成説明会を開催

4 助成計画の策定と目標額の設定

- (1) 助成申請を基に助成計画を策定し、これに経費を加え募金目標額とした。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して前年と同じ5億4000万円とし、配分委員会の承認後、7月15日の理事会で決定した。

- (2) 社会福祉法第119条に基づき、募金の目標額、受配者の範囲、配分方法を、9月30日の静岡新聞紙上で公告した。



令和3年度共同募金 申請状況・助成計画・目標額

(単位:千円)

募金区分	申請状況		助成計画 ①	経 費 ②	目標額 (①+②)
	件数	申請額			
一般募金	117	274,476	283,530 《270,620》	68,356	338,976
地域歳末 たすけあい募金	34	174,760	174,760 《174,760》	5,346	180,106
NHK歳末 たすけあい	申請受付期間 9月1日～10月31日		22,753 《20,069》	849	20,918
計	151 (158)	449,236 (457,917)	481,043 《465,449》 (481,088)	74,551 (74,551)	540,000 (540,000)

《 》書き:助成計画のうち募金が必要な額(積立金取崩等、既に財源があるものを除く)

()書き:前年度実績

(助成計画、市町別目標額は別冊統計資料 2～3ページ)

5 広報活動

(1) 県民全体への広報

- ① 本県では8月20日から9月30日まで緊急事態宣言が適用されたため、運動初日の10月1日(金)には、例年行っていた街頭キャンペーン活動は行わず、代わりに会長と高校生募金ボランティアが県知事を訪問し、運動開始に当たっての協力を知事に求めた。訪問では会長から知事へ厚生労働大臣メッセージを伝達し、知事から県民に向けての募金呼びかけメッセージが発せられた。

当訪問については県内テレビ局全5社及び新聞社1社が取材に訪れ、県民への効果的な広報となった。併せて知事メッセージは本会ホームページに動画で掲載し、広く県民へ周知した。

- ② 20市町共同募金委員会においても、10月1日の運動開始以降、駅や繁華街等において、福祉団体関係者、ボランティアによる街頭募金等の宣伝活動を行った。新型コロナウイルス感染症の影響で規模縮小や中止を余儀なくされ、開催回数は、延べ90か所(前年比81%)にとどまった。

(例)東日本旅客鉄道(株)の承認をうけ10月～12月の5日間、伊東駅構内で街頭募金を実施

- ③ 「使いみちの見える化」を図り新たな募金につなげるため、運動開始前に本年度申請事業の内容と昨年度の助成先を紹介する市町版各戸配布チラシを全戸配布(又は回覧)し、赤い羽根共同募金の意義と必要性をアピールした。

特に助成金の7割以上を活用している市町社会福祉協議会が行う助成事業を中心に掲載し、赤い羽根共同募金が身近な地域福祉活動に役立っていることを広報した。

- ④ 「広報用ビデオ」を自治会・町内会の募金の協力依頼や民生委員への理解促進、募金ボランティア研修などに幅広く活用し、赤い羽根共同募金の周知に努めた。

- ⑤ 各種資材を活用し、各世帯、企業、学校などへの広報活動を実施した。

	資 材 名	作成・購入数	備 考
本 会 作 成 購 入	赤い羽根(シール・針)	1,686,000 本	各世帯用(購入)
	ポスター(静岡県版 B2・B3・A2)	12,650 枚	各所掲出用(作成)
	赤い羽根共同募金への寄付と税制優遇(A4 三つ折り)	32,000 枚	寄付者用(作成)
	市町版各戸配布用チラシ(A4)	564,450 枚	各世帯用(作成)
	法人開拓用チラシ(A4)	19,300 枚	企業用(作成)
	全県版チラシ(A3)	3,000 枚	一般用(作成)
	課題解決プロジェクト募金団体チラシ(A4)	15,700 枚	〃 (作成)
	課題解決プロジェクト募金参加団体一覧チラシ(A3)	4,000 枚	〃 (作成)
	募金ボランティアバッジ	4,800 個	募金ボランティア用(購入)
	ボランティア活動の手引き(A4 三つ折り)	26,900 枚	〃 (作成)
	募金ボランティア委嘱状(A5)	2,700 枚	〃 (作成)
	静岡県知事名挨拶状(A4)	10,300 枚	企業用(作成)
	静岡県商工会議所連合会会長・商工会議所会頭連名挨拶状(A4))	52,120 枚	15商工会議所会報誌に同封(作成) ※うち4,400枚は会報誌に印刷
	静岡県商工会連合会会長・商工会会長連名挨拶状(A4)	7,920 枚	12 商工会(作成)
	市町共同募金委員会会長名領収書(冊子型)	66,870 枚	戸別等市町共募領収書(作成)



	資 材 名	作成・購入数	備 考
	市町共同募金委員会会長名領収書(バラ型)	20,915 枚	// (作成)
	静岡県共同募金会会長名領収書(冊子型)	64,920 枚	法人等税控除用領収書(作成)
	静岡県共同募金会会長名領収書(バラ型)	15,460 枚	// (作成)
	払込取扱票	33,200 枚	ゆうちょ銀行振込用(作成)
	赤い羽根共同募金助成シール(玄関受配標示及び大型機器用)	600 枚	助成先用(作成)
	赤い羽根共同募金助成シール(発送用)	7,500 枚	// (作成)
	赤い羽根共同募金助成シール(小)	1,800 枚	// (作成)
中央 共 募 作 成	企業向パンフレット	2,181 冊	企業用(購入)
	基礎パンフレット(赤い羽根リーフレット)	872 冊	一般用(購入)
	子ども向パンフレット	1,336 冊	学校用(購入)
	壁新聞(B2)	1,810 枚	// (購入)
	赤い羽根ブランドブック	146 冊	一般用(購入)
	学校募金ハンドブック	7,400 冊	学校用(購入)
	子ども用ワッペン(ドラえもん)	17,827 個	// (購入)
	子ども用クリアファイル	4,355 枚	// (購入)
	募金バッジ	229 個	寄付者用(購入)
	エコバッグ	20 個	募金ボランティア用(購入)
	ボールペン	2,345 本	// (購入)
	赤い羽根ステッカー	3 枚	各所掲出用(購入)
	クリアファイル	300 枚	一般用(購入)
	赤い羽根協力店シール	253 枚	各所掲出用(購入)
	募金箱用チラシ	770 枚	一般用(購入)
	スタンド式募金箱	20 個	// (購入)
	スタンド式募金箱・台	30 個	// (購入)
	街頭肩掛募金箱	34 個	街頭用(購入)
	卓上募金箱	1 個	一般用(購入)
	新卓上募金箱	134 個	// (購入)
	職域募金箱	3,360 個	// (購入)
	組立式募金箱(ドラえもん)	59,210 個	学校用(購入)
	募金箱用チェーン	53 本	募金箱用(購入)
	募金箱用鍵	20 個	// (購入)
	// (旗布のみ)	106 枚	// (購入)
	スタッフジャンパー	6 枚	街頭用(購入)
	プレミアム赤い羽根バッジ	38 個	役職員用(購入)
	寄付つきプレミアム赤い羽根バッジ	400 個	寄付つき商品用(購入)
	寄付つきクオカード	2,919 枚	// (購入)
	寄付つき図書カード	1,665 枚	// (購入)

(2) ホームページによる広報

ホームページを活用し、共同募金運動の実施状況や助成情報を提供するとともに、寄付者への感謝と募金の「使いみちの見える化」に努めた。

- ① 助成情報の周知(助成要綱、申請用紙などをダウンロードできる仕組み)
- ② 助成を受けた施設・団体からの「ありがとうメッセージ」を公開
- ③ 学校や企業・団体による寄付金贈呈式や寄付に対する感謝状贈呈式の掲載
- ④ 募金箱を設置しているスーパーマーケットやイベント募金に取組む企業等取材し、企業の社会貢献活動をアピール
- ⑤ 課題解決プロジェクト募金の参加団体が掲げるテーマとその目標額・実績額(随時更新)を掲載し、インターネットから寄付ができる仕組みの強化
- ⑥ 中央共同募金会とリンクして、全国キャンペーンや共同募金に関する情報を発信
- ⑦ 助成先のホームページに共同募金のバナーをつけることを促しリンクを強化



(3) 報道機関の広報協力

- ① 9月8日、会長及び常務理事が民放テレビ局(4局)、新聞社(1社)、日本放送協会静岡放送局の代表者を訪問し、共同募金運動及び助成先の報道、プレミアム赤い羽根バッジ販売の広報などについて、直接協力依頼を行った。

その結果、次のとおり、共同募金運動の開始や様々な使いみち等について報道された。

■テレビ・ラジオ報道(把握分)

放送局名	番組名	内容	放送日
日本放送協会 静岡放送局 (NHK)	ひるしず	ワークセンターりんどう「ビニールハウス」 プレミアム赤い羽根バッジ	10/1
	たっぶり静岡	運動開始日の会長・高校生募金ボランティア による知事訪問	
	昼ニュース、たっぶり静岡	NHK歳末たすけあいスタート	12/1
	ラジオお知らせ	プレミアム赤い羽根バッジ紹介	随時
静岡第一テレビ (SDT)	every.しずおか	赤い羽根ふじのくに夏休みこども食堂支援 セット贈呈式	8/12
		運動開始日の会長・高校生募金ボランティア による知事訪問	10/1
	Dstyle	えんぜる「パン製造機器」	10/8
静岡放送 (SBS)	JNN ニュース	赤い羽根ふじのくに夏休みこども食堂支援 セット贈呈式	8/7
		しずおかキッズカフェ「赤い羽根ふじのくに 夏休みこども食堂支援セット助成」	9/25
		運動開始日の会長・高校生募金ボランティア による知事訪問	10/1、2
静岡朝日テレビ (SATV)	とびっきりしずおか	運動開始日の会長・高校生募金ボランティア による知事訪問	10/1
テレビ静岡 (SUT)	FNN Live News days	赤い羽根ふじのくに夏休みこども食堂支援 セット贈呈式	8/7
		運動開始日の会長・高校生募金ボランティア による知事訪問	10/1
シティエフエム静岡 (FM-Hi!)	ひるラジ！静岡情報館	浜松いのちの電話 「赤い羽根いのちをつなぐフリーダイヤル月間」	6/16
		静岡県社会福祉協議会 「課題解決プロジェクト募金の紹介」	1/14
		静岡県補助犬支援センター 「課題解決プロジェクト募金の紹介」	2/9
		サンフォレスト 「課題解決プロジェクト募金の紹介」	3/23
計		18件	

■新聞報道(把握分)

新聞名	内容	掲載日
静岡新聞	新型コロナ対策いのちをつなぐ支援活動事業	4/6、5/18
	新型コロナ対策フードバンク応援事業	4/7、9/21
	知事報告(4/27)	4/28
	災害ボランティア活動用機器整備事業での覚書締結(富士市社協)	6/12
	災害ボランティアセンターへの助成	7/6
	令和3年7月大雨災害静岡県義援金の受付開始	7/9
	赤い羽根ふじのくに夏休みこども食堂支援セットによる助成	8/8、9/26
	コロナ下での募金活動(運動開始前啓発記事)	9/17
	運動開始にあたっての知事訪問(10/1)	10/2
	寄付金贈呈式(静岡英和女学院生徒会)	10/28
	募金箱製作(島田工業高校→島田市共同募金委員会)	11/20
	寄付金贈呈(清水区アキラガ連合会、小糸製作所労組、清水銀行→静岡市共同募金委員会)	12/3、12/27
	災害義援金贈呈式(生活協同組合ユーコープ)	12/4



新聞名	内容	掲載日
	寄付金贈呈式(生活協同組合ユーコープ)	12/22
	課題解決プロジェクト募金	12/31
	災害ボランティア活動用機器整備事業での覚書締結(静岡市社協)	1/19
	課題解決プロジェクト募金の取り組み(静岡県社協)	2/5
	課題解決プロジェクト募金の取り組み(菊川市社協)	2/7
毎日新聞	災害ボランティアセンターへの助成	7/6
計	23件	

- ② 中央共同募金会制作の運動啓発用のテレビスポット、ラジオスポットを各放送局(民間テレビ4局・ラジオ2局、ケーブルTV11局、コミュニティFM8局、インターネットラジオ1局)に提供し、報道協力を得た。

(4) 地元サッカーチームの広報協力

平成22年度からJリーグの清水エスパルスとジュビロ磐田の全面協力により、マスコットキャラクター(パルちゃん&ジュビロくん)の写真提供を受け、独自ポスターを制作している。

令和3年度は、「つながりをたやさない」をキャッチコピーに、ポスター12,650枚を制作し、町内会・自治会の掲示板、公共施設や地方銀行(静岡銀行(180枚)、清水銀行(80枚)、スルガ銀行(電子掲示板))などに掲出し啓発を行った。



(5) 赤い羽根バルーンによる広報協力

令和元年度までは、各金融機関に市町共同募金委員会が行う各種キャンペーンに活用する赤い羽根バルーンへの協賛依頼を行っていたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により各種キャンペーンが実施できないことが予想されたため、前年度に引き続き依頼を取りやめた。

(6) 静岡県による広報協力

- ① しずおか県民だより10月号の「情報ひろば」において、助成テーマ等が掲載された。
- ② 県庁にのぼり(4箇所)が掲出され、募金箱(3個)が設置された。また、県庁東館・健康福祉部・知事室・副知事室、健康福祉センター(7箇所)にポスターが掲出された。
- ③ SBSラジオ及びK-mixの「県庁ニュース ふじのくに！」で、赤い羽根共同募金運動の実施について放送された。

(7) 静岡県社会福祉協議会による広報協力

静岡県社会福祉協議会機関紙「社会福祉しずおか“むすぶつなぐ”10月号」に、赤い羽根共同募金運動をテーマとした特集記事が掲載され、赤い羽根の助成によるコロナ禍での孤立を防ぐ買い物支援の取り組みや、「新型コロナ対策フードバンク応援事業」による募金の使いみち等が紹介された。(11,300部県内福祉施設、団体、民生委員児童委員、企業、県内小中高等学校等に配付)

(8) 若者向け「壁新聞」制作プロジェクト

次代を担う若者に対する福祉教育の一環として、①人を思いやる心を育み、②たすけあいの大切さを知り、③募金運動への参加、を呼び掛けるため、若者向け「壁新聞」を制作するプロジェクトを実施した。

プロジェクトは県立清水南高等学校の協力を得て、芸術科美術専攻の2年生4名による作品コンペを行い、最優秀作品を決定した。(他の作品も翌年度の赤い羽根の各種チラシ等に活用)

作成した壁新聞は、翌年度、県内の全中学校・高等学校に配付して校内に掲示していただき、赤い羽根共同募金運動を通じて若者に福祉に関心を持ってもらうために活用する。



6 寄付依頼活動(募金活動)

(1) 赤い羽根共同募金(令和3年10月1日～令和4年3月31日の6カ月間)

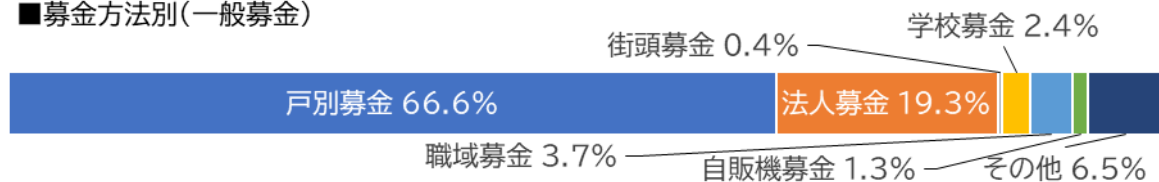
社会福祉協議会や広域活動団体が行う地域福祉活動支援事業、社会福祉施設の機器整備、こども食堂誕生日会・福産品応援事業などに対する助成を行うため、各市町の区域ごとに戸別、法人、学校募金等の募金活動を実施した。

また、参加団体が課題解決を呼び掛ける課題解決プロジェクト募金(使いみちを選べる募金)、ネット募金、社会貢献型自動販売機の設置、寄付つき商品(募金百貨店)の提案、寄付物品の受け入れなど新しい募金手法にも挑戦した。

今年度は、長引くコロナ禍により従来の運動方法が制限されるなど苦しい運動となったが、感染症対策ガイドラインを改訂し、多くのボランティアの皆さんと安全で安心できる運動に努めた。

区分	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	前年度比較	
				増減額(円)	比率(%)
一般募金	338,976,000	312,732,868	92.3	2,742,450	100.9
(うち課題解決 プロジェクト募金)	(6,004,000)	(4,758,168)	(79.2)	(▲1,799,421)	(72.6)

■募金方法別(一般募金)



■募金方法別の分析

募金方法	対 応	募金額 前年比	新型コロナの影響
戸別募金	・全世帯へ協力依頼チラシの配布回覧 ・積極的な広報によりマスコミでの露出度を高める	100.1%	自治会・町内会の協力により前年並となった
法人募金	・振り込みによる寄付の推奨(非接触型) ・商工会議所等の経済団体に直接協力依頼 ・民生委員に衛生面に配慮した運動方法を説明	104.3%	非接触型募金の推奨などを進め、募金実績が増加
街頭募金	・目的を募金からPRに変更 ・衛生面に配慮した運動であることを周知	102.3%	実施できた組織・団体が増え、募金実績も増加
学校募金	・教育委員会、高等学校長協会の会議で協力依頼 ・学校募金ハンドブックの活用依頼	100.1%	生徒会を中心とした堅実な運動などにより前年並となった
職域募金	・共同募金の必要性を丁寧に説明 ・WEB募金箱の提案	97.8%	各職域への丁寧な説明などにより、ほぼ前年並となった

① 一般募金(令和3年10月1日～12月31日)

戸別募金、法人募金、学校募金、職域募金などにより円滑な募金活動を推進するため、募金推進団体開催の会合に出向き、募金活動への積極的な協力を依頼した。

ア 知事への報告及び協力依頼

令和2年度の募金・助成活動の報告、10月1日からの令和3年度の運動への協力依頼を行った。

月日	内容	出席者
令和3年4月27日(火)	令和2年度の募金・助成活動の報告	会長、常務理事他
令和3年10月1日(金)	令和3年度の運動への協力依頼	会長、常務理事他

イ 戸別募金増強に向けて ―自治会連合会へお礼と協力依頼―

月日	主催	会議名
令和4年2月25日(金)	静岡県自治会連合会	理事会



ウ 法人募金増強に向けて ―各団体へお礼と協力依頼―

■静岡県、政令市民生委員児童委員協議会

月日	主催	会議名
令和3年5月14日(金)	静岡県民生委員児童委員協議会	理事会
令和3年5月12日(水)	静岡市民生委員児童委員協議会	理事会
令和3年6月3日(木)	浜松市民生委員児童委員協議会	理事会

■経済・産業関係団体

月日	主催	会議名
令和3年8月6日(金)	(一社)静岡県商工会議所連合会	専務理事・事務局長会議※1
令和3年8月6日(金)	静岡県商工会連合会	訪問依頼※2
令和3年10月7日(木)	(一社)静岡県医師会	訪問依頼※3
令和3年10月19日(火)	(一社)静岡県建設業協会	理事会※4
令和3年10月8日(金)	静岡県中小企業団体中央会	訪問依頼※5

※1 静岡県商工会議所連合会会長及び商工会議所会頭の自署による「共同募金協力に係る挨拶状」を県内商工会議所が発行する会報誌に同封(一部印刷)して、会員に対して社会貢献メニューとしての共同募金への協力を呼びかけた。

※2 静岡県商工会連合会会長及び商工会会頭の連名による「共同募金協力に係る挨拶状」を活用し、市町共同募金委員会が当該商工会の会員に対し、社会貢献メニューとしての共同募金への協力を呼びかけた。

※3 静岡県共同募金会会長の自署による「赤い羽根共同募金のご協力をお願い」を静岡県医師会が発行する会報誌に掲載して、会員に対して社会貢献メニューとしての共同募金への協力を呼びかけた。

※4 静岡県建設業協会の協力により、会員企業に対して社屋・建設工事現場等への「社会貢献型自動販売機」の設置を呼びかけた。また、静岡県建設業協会のホームページに本会からの寄付依頼、「社会貢献型自動販売機」設置協力依頼を掲載した。

※5 静岡県中小企業団体中央会のホームページに「赤い羽根共同募金のご協力をお願い」を掲載して、会員に対して共同募金への協力を呼びかけた。また、職域募金の協力を呼びかけた。

■金融機関

月日	対象	内容
令和3年8月23日(月)～25日(水)	県内地方銀行 3 行	・職域募金 ・手数料免除 ・プレミアム赤い羽根バッジ購入依頼
令和3年8月20日(金)	県民共済生活協同組合	・職域募金 ・プレミアム赤い羽根バッジ購入依頼

エ 企業団体等への募金の依頼

■募金箱の設置推進と募金実績(募金箱・職域募金、自動販売機を含む)

依頼先	件数	設置期間	寄付金額(円)	備考
国の出先機関	130	10月～3月	32,509	
静岡県庁	900	10月～12月	1,155,605	一般募金 692,270 円 NHK歳末 463,335 円
静岡県庁売店	1	年間	0	
(株)サンコートラベル	1	年間	282	
静岡県教育会館	1	年間	0	
ふじのくに健康福祉キャンペーン構成団体	94	10月～3月	155,432	
静岡県内の郵便局	483	10月～3月	510,728	
(公財)静岡市まちづくり公社	1	年間	0	
静岡県建設業協会	1	年間	0	
	2	年間	994	
(株)エスパルス(S-PULSE STORE 他)	1	10月～12月	846	



依 頼 先	件数	設置期間	寄付金額(円)	備考
	15	年間	141,532	
(株)ジュピロ	2	10月~12月	79	
真如苑(静岡精舎、浜松支部)	2	年間	94,603	
富士山静岡空港 受付カウンター	1	年間	7,180	
全日本空輸(株)静岡空港所	1	10月~12月	0	
(株)静岡銀行	180	10月~11月	355,267	
	171	年間	899,290	
静銀リース(株)	1	10月~12月	13,247	
(株)静岡鉄道(静鉄ホテルプレジオ)	3	年間	24,711	
	28	年間	155,332	
静岡県中小企業団体中央会	1	年間	6,590	
(一社)静岡県医師会	1	年間	10,000	
協和医科器械(株)	1	10月~12月	0	
静岡県志太榛原地域労働者福祉協議会	1	10月~12月	0	
信号器材(株)	1	10月~12月	0	
静岡県労働金庫	1	10月~12月	0	
	1	年間	28,272	
(株)エンチョー	52	10月~12月	264,122	県内 231,077 円 県外 33,045 円
(株)オークワ	2	10月~12月	3,508	
(株)静鉄ストア	32	10月~12月	162,409	
(株)遠鉄ストア	33	10月~12月	200,000	
(株)ヒバリヤ	7	10月~12月	9,959	
(株)タカラ・エムシー(フードマーケット マム)	45	10月~12月	159,295	
(株)ユーマート	8	年間	20,953	
生活協同組合ユーコープ	18	12月	3,019,560	うち、社会的養護のこどもへ 2,873,276 円
沓間水産(株)(沼津魚がし鮨)	20	年間	17,250	
静岡県麺類業生活衛生同業組合	13	10月~12月	2,400	
静岡県社交飲食業生活衛生同業組合	16	10月~12月	0	
静岡県飲食業生活衛生同業組合	9	10月~12月	0	
静岡県鮎商生活衛生同業組合	17	10月~12月	10,241	
静岡県理容生活衛生同業組合	27	10月~12月	20,900	
静岡県美容業生活衛生同業組合	4	10月~12月	3,367	
生活衛生同業組合静岡県映画興行協会	1	10月~12月	0	
静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合	7	10月~12月	0	
静岡県公衆浴場生活衛生同業組合	9	10月~12月	0	
静岡県クリーニング生活衛生同業組合	12	10月~12月	0	
静岡東宝会館	1	年間	10,685	
	1	年間	3,267	
静岡県書店商業組合	15	年間	20,291	
(株)戸田書店	6	年間	30,243	
(株)谷島屋	18	年間	75,429	
(株)江崎書店	3	年間	0	
MARUZEN&ジュンク堂	1	年間	0	
計(48)	2,403		7,626,378	
前年度(44)	2,389		4,594,283	

※二段書き:上段は募金箱・職域募金、下段は自動販売機



オ 組立式募金箱、職域募金箱、街頭肩掛募金箱など5種類の募金箱 61,688 個(前年度 54,343 個)を市町共同募金委員会を通じて無償で配布し、自発的寄付の環境を整えた。

カ 学校募金への取り組み依頼

学校募金ハンドブックを県内の小学校・中学校・高等学校に4冊ずつ(計7,400冊)配付し、教育活動の一環としての共同募金運動に取り組むよう依頼した。

月日	主催	対象
令和3年4月8日(木)	静岡市教育委員会	静岡市校長会(理事会)
令和3年5月27日(木)	静岡県高等学校長協会	高等学校長理事(理事会)
学校募金ハンドブックの配付を依頼	浜松市教育委員会	市立小、中学校長
	静岡市教育委員会	市立小、中学校長
	静岡県私学協会	学校法人理事長・校長
	静岡県教育委員会	市町教育委員長・教育長(政令市含む)
		公立小、中学校長(政令市除く)
		公立高等学校、特別支援学校長(市立高含む)

② 課題解決プロジェクト募金(令和4年1月1日～3月31日)

課題解決プロジェクト募金は、地域の福祉課題をテーマに持つ団体が、共同募金会と協働して、課題を解決する必要性を広くアピールしながら、自ら募金の協力を呼び掛けるもので、寄付者にとっては「使いみちを選択できる」新たな募金の仕組みである。

テーマに寄せられた寄付金は、共同募金会から当該団体の支援活動に全額助成(事務経費:本会経費 2%、クレジットカード手数料 3%を除く)され、課題解決へとつながる財源として活用された。

No	団体名	テーマ	目標額 (円)	寄付 件数	実績額 (円)	助成額 (円)
1	社会福祉法人 菊川市社会福祉協議会	あなたが支える移動支援サービス	1,017,000	127	497,000	486,640
2	特定非営利活動法人 POPOLO	静岡 POPOLO ハウス 運営事業	313,000	16	219,000	214,080
3	特定非営利活動法人 てくてく	ひきこもり支援～居場所 事業	511,000	24	238,530	233,760
4	特定非営利活動法人 サンフォレスト	ひきこもり支援・相談 スタッフ初級養成講座 開催事業	200,000	36	209,000	204,130
5	社会福祉法人 静岡いのちの電話	ひとりで悩まないで～ 電話相談ポスター作製 事業	154,000	27	183,000	179,040
6	社会福祉法人 浜松いのちの電話	若者のこころの支援事 業	276,000	28	226,544	221,114
7	NPO法人 サステナブルネット	貧困の子ども達に対す る食糧支援事業	1,437,000	12	224,000	215,050
8	社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会	児童養護施設等退所者 への就学等支援事業	511,000	65	1,113,299	1,085,521
9	特定非営利活動法人 湖西なるつバスケット	次代を担い自立する心 豊かな青少年を育成す る事業	307,000	140	370,000	362,060
10	特定非営利活動法人 静岡県補助犬支援センター	身体障害者補助犬育成 継続事業	562,000	154	740,479	725,070
11	特定非営利活動法人 オールしずおかベストコ ミュニティ	障がいのある人の自立 を考えるみんなの集い 開催事業	154,000	14	210,501	206,291
12	特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会	若者と学ぶ共生社会づ くり事業	562,000	67	526,815	515,529
計 (12)			6,004,000	710	4,758,168	4,648,285
前年度(13)			6,157,000	827	6,557,589	6,416,810

(詳細は別冊統計資料 33ページ)



(2) 地域歳末たすけあい募金(令和3年12月1日から12月31日までの1カ月間)

市町社会福祉協議会が実施する地域歳末支援事業のため各市町の区域ごとに戸別、法人募金等の募金活動を実施した。

区分	目標額(円)	実績額(円)	達成率(%)	前年度比較	
				増減額(円)	比率(%)
地域歳末たすけあい募金	180,106,000	181,047,206	100.6	1,255,485	100.7

(3) NHK歳末たすけあい(令和3年12月1日から12月25日までの25日間)

日本放送協会、中央共同募金会、NHK厚生文化事業団が、生活困窮者等の年末年始支援、児童養護施設等利用者の就職等自立支援を行うために71回目の募金活動を行った。

- ① 日本放送協会静岡放送局は、テレビ番組やラジオ放送の中で募金活動と呼び掛けるとともに、静岡放送局に募金受付窓口を設けた。
- ② 中央共同募金会を通じて寄付経験者に寄付依頼のダイレクトメールを発送した。
- ③ 運動初日に、静岡精華幼稚園の協力を得て、静岡放送局、日本赤十字社静岡県支部(NHK海外たすけあい)とともに募金受付窓口オープンキャンペーンを行った。

区分	目標額(円)	実績額(円)	達成率(%)	前年度比較	
				増減額(円)	比率(%)
NHK歳末たすけあい	20,918,000	21,762,659	104.0	2,548,518	113.3

■受付状況

受付窓口	件数	寄付額(円)	内 訳		
			取り扱い	件数	寄付額(円)
中央共同募金会	1,146	14,448,387	県下各郵便局、信用金庫ほか		
日本放送協会静岡放送局	88	1,210,500			
	275	6,103,772	地方銀行3行扱い	19	2,464,437
			農協扱い	36	292,724
			漁協扱い	1	10,000
			事務局扱い 他	219	3,336,611
県内窓口	363	7,314,272			
計	1,509	21,762,659			
前年度	1,793	19,214,141			

7 新しい募金手法による寄付の受入(年間を通した寄付)

(1) 社会貢献型自動販売機による寄付

売り上げの一部が共同募金に寄付される清涼飲料水自動販売機の設置を推進した。(50音順)

飲料会社・業者	設置台数	寄付額(円)
アサヒ飲料販売(株)	8	24,889
アシード(株)静岡営業所	1	9,338
(株)アベックス	2	53,714
(株)伊藤園	55	673,440
(株)エムシーフードサービス	1	28,000
(株)エル・アイ・ビバレッジ	1	8,377
コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)	51	245,295
サントリービバレッジソリューション(株)	19	79,567
サントリーフーズ(株)	1	8,986
(株)栗堂	1	1,352
静岡塩業(株)	10	21,855
(株)ジャパンビバレッジホールディングス	30	158,495
ダイドードリンコ(株)	156	1,385,119
中央静岡ヤクルト販売(株)	4	23,584
東海ビバレッジサービス(株)	72	515,594



飲料会社・業者	設置台数	寄付額(円)
トーヨーベンディング(株)	1	10,838
ナショナル・ベンディング(株)	5	37,839
西静岡ヤクルト販売(株)	1	10,993
(特非)ハートフル福祉募金	15	377,611
(株)富士テレネット	16	9,240
フクロイ乳業(株)	2	10,999
ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)	7	78,983
ユニヴァーサル商事(株)	37	210,964
その他	9	12,393
計	505	3,997,465
前年度	505	3,982,394

※設置台数は、令和4年3月31日現在(設置先別台数一覧は別冊統計資料13ページ)

(2) 物品による寄付

地元企業等の周年記念祝いの胡蝶蘭や社会貢献活動としての食品などの物品を、積極的に共同募金に寄付として受け入れ、その物品を社会福祉施設に助成するとともに、物品の評価額を寄付金として扱い、社会福祉事業等へ貢献する新しい募金手法として、企業の社会貢献活動の促進につなげた。

募金種別	寄付者	寄付物品	数量	寄付額(円)
一般募金	はごろもフーズ(株)	鉢植(胡蝶蘭)	14	420,000
	(株)静岡銀行	鉢植(胡蝶蘭)	24	720,000
	アサヒ飲料(株)	飲料水(カルピス他)	8	26,880
	はごろもフーズ(株)	食品(お茶他)	2,640	2,132,069
	(一社)静岡缶詰協会	食品(缶詰他)	18,192	2,539,064
	はごろもフーズ(株)	鉢植(胡蝶蘭)	4	120,000
	木内建設(株)	鉢植(胡蝶蘭)	82	2,460,000
	ハジメーン(株)	食品(ゼリー)	590	400,020
	ハジメーン(株)	日用品	2,498	1,536,206
	静岡県労働金庫	備品(事務機器)	7	122,200
計		10 件	24.059	10,476,439
前年度		23 件	90,178	17,845,013

(助成一覧は別冊統計資料25～32ページ)

(3) 寄付つき商品による寄付

① 募金百貨店プロジェクト

募金百貨店は“赤い羽根”共同募金会が行う寄付つき商品を扱う仮想の百貨店である。募金百貨店への登録企業が企画・販売する“寄付つき商品”の売り上げの一部が赤い羽根共同募金に寄付され、県内の福祉活動の支援に役立てられる。

登録企業、購入者にとっては、地域社会に貢献するしくみとなるので、積極的に企業に提案している。

■令和3年度登録商品

	第1号		
登録企業	(株)エスパルス		
登録商品	2021エスパルス×赤い羽根 ピンバッジ(2種類)	2021エスパルス×赤い羽根 マグネット(2種類)	2021エスパルス×赤い羽根 マスク(2サイズ)
価格/数量	770円(税込)	990円(税込)	1,540円(税込)
寄付先	一般募金		
販売期間	令和3年10月15日～ (引き続き販売中)		
販売場所	エスパルスオフィシャルオンラインストア、エスパルスストア(静岡市清水区)、ホームゲーム会場		



② プレミアム赤い羽根バッジによる寄付

共同募金のシンボルである「赤い羽根」に親しみを持っていただくとともに、共同募金運動の認知度を高めるために、平成29年度から寄付つき商品として「プレミアム赤い羽根バッジ」を取り扱い、着用を推進した。

【頒布価格】1,000円 【購入元】中央共同募金会

窓口	個数	寄付額(円)	備考
本会(ゆうちょ銀行払込等)	229	115,668	・寄付額476円×229個
静岡県庁(県職域募金)	59	21,420	・寄付額476円×59個
静岡県庁東館 2 階 喫茶びあ～	26	12,376	(福)明光會による窓口取扱業務の協力 ・寄付額476円×26個
計	314	149,464	
前年度	479	228,004	

③ その他の寄付つき商品による寄付

【頒布価格】1,000円 【購入元】中央共同募金会

寄付つき商品	枚数	寄付額(円)	備考
赤い羽根クオカード	2,919	1,120,896	寄付額384円×2,919 枚
赤い羽根図書カード NEXT	1,665	664,335	寄付額399円×1,665 枚
計	4,584	1,785,231	
前年度	4,949	1,926,696	

(4) ネット募金

中央共同募金会のオンライン寄付サイトからクレジットカードによりネット募金が簡単に行えるように、本会ホームページの入力画面の簡素化を図った。

また、中央共同募金では、企業が作るオンライン寄付サイトから、様々な方法(クレジットカード、ポイント、仮想通貨、株主優待券等)で寄付できる仕組みづくりに取り組んだ。

募金種別	ネット募金の種類		件数	寄付額(円)
一般募金	中央共募オンライン寄付サイト	ふるさとサポート募金(クレジットカード)	131	1,382,993
	TwitterJapan	クリスマスボックス #for good プロジェクト(ツイッター社から1ツイート1円寄付)	-	106,382
	Yahoo!	Yahoo! ネット募金(クレジットカード)	-	6,585
	ファミリーマート	Fami ポート募金(コンビニ支払)	-	11,000
	ローソン	ローソンチケットを利用した寄付、Loppi 募金(コンビニ支払)	-	65,793
	ソフトバンク	つながる募金(電話料金と同時支払)	-	5,260
	Net Mile	種類の違うポイントをネットマイルにまとめて寄付	-	229
	au ペイメント	ネット決済用プリペイドカードによる寄付	-	1,192
	小計		131	1,579,434
地域歳末たすけあい募金	Yahoo!	Yahoo! ネット募金(クレジットカード)	-	19,483
	小計		-	19,483
新型コロナ対策いのちをつなぐ支援活動事業	株優サポートクラブ	株優サポートクラブによる寄付	1	7,720
	中央共募オンライン寄付サイト	ふるさとサポート募金(クレジットカード)	17	168,000
	小計		18	175,720
計			149	1,774,637
前年度			65	2,605,560

(5) 中央共同募金会受付の寄付金(静岡県分)

寄 付 者	件数	寄付額(円)
日本中央競馬会	1	3,800,000
(株)マルハンユニオン	1	794,512



寄 付 者	件数	寄付額(円)
東京海上日動火災保険(株)	1	347,400
ホーチキ(株)	1	200,000
(株)カインズ グループ会社	1	85,106
その他	26	227,769
計	31	5,454,787
前年度	17	877,186



第2 助成活動

年度当初に受け付けた施設・団体等(社会福祉協議会を含む)からの助成申請については、1月から2月にかけて配分委員会委員による実地調査を実施した上で助成案を策定し、配分委員会での承認を経て、3月15日の理事会において、次のとおり決定し助成した。(令和4年5月2日公告)

助成に当たっては、次の募金につなげるため、助成先に対して「感謝の気持ちの伝達」の徹底に努めた。

1 共同募金による助成

(1) 令和3年度共同募金による助成

令和3年度共同募金運動による寄付金等を財源に次の助成(3年度及び4年度実施事業)を行った。

(単位:円)

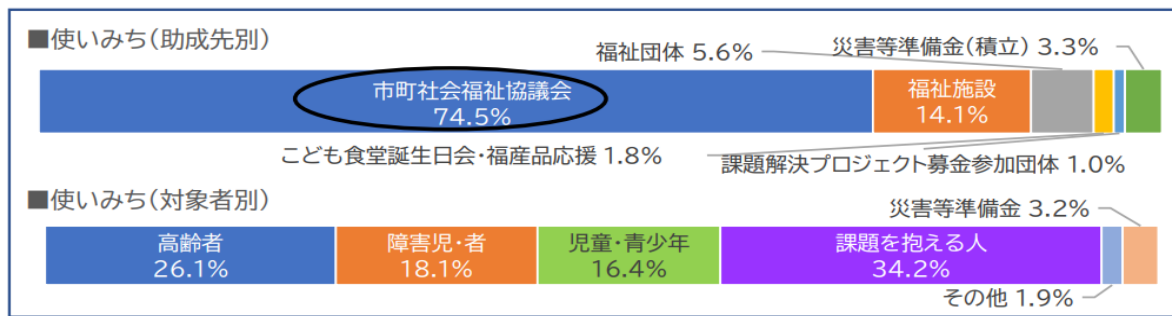
区分	助成種別	助成先	件数	3年度実施 事業助成額	4年度実施 事業助成額	計
一般 募金	地域 助成	地域福祉活動支援事業	市町社会福祉協議会	35	0	136,807,943
			市町社会福祉協議会 (年度内精算分)	(23)	0	33,251,351
		小計	35	0	170,059,294	170,059,294
	広域 助成枠	地域福祉活動支援事業	市町社会福祉協議会 (機器整備)	2	0	1,950,000
			広域福祉活動団体	16	0	24,831,000
		福祉施設機器整備事業	社会福祉施設・団体	38	0	37,344,000
		子ども食堂誕生日会・福 産品応援事業	障害者就労支援団体	2	0	8,000,000
		地域共生社会づくりモデ ル事業	市町社会福祉協議会	1	0	180,000
		災害等準備金	(積立)	—	0	15,100,000
		物品寄付ほか	社会福祉施設・団体	107	10,576,439	0
		小計	166	10,576,439	87,405,000	97,981,439
	課題解決プロジェクト募金		参加団体	12	0	4,648,285
	計		213	10,576,439	262,112,579	272,689,018
地域歳末 たすけあ い募金	地域歳末たすけあい事業	市町社会福祉協議会	34	130,784,633	0	130,784,633
	地域福祉活動支援事業 (翌年度分)	市町社会福祉協議会	(33)	0	44,435,700	44,435,700
	計		34	130,784,633	44,435,700	175,220,333
NHK 歳末 たすけ あい	年未年始支援活動助成	福祉活動団体	13	900,000	0	900,000
	年未年始施設利用者支援助成	児童福祉施設、 更生施設他	48	11,850,000	0	11,850,000
	就職等自立支援助成	児童養護施設協議会、 里親連合会	2	0	5,694,000	5,694,000
	計		63	12,750,000	5,694,000	18,444,000
合計			310	154,111,072	312,242,279	466,353,351
前年度			379	145,047,248	330,396,527	475,443,775

【助成財源】

①令和3年度共同募金 ②災害等準備金取崩金(平成29年度積立分)14,806,132円 ③年度内精算分(令和2年度共同募金により令和3年度に市町社会福祉協議会が行う地域福祉活動支援事業のうちコロナ禍で実施できなかった分は令和4年度事業分として再助成)33,251,351円など

()書きは市町社会福祉協議会の地域福祉活動支援事業、地域歳末たすけあい事業との重複件数

(詳細は別冊統計資料 14～42ページ)



2 緊急等助成資金による助成

平成27年度末に繰越金が多額になったため、所轄庁(当時は静岡県)の指導により、目的を明確にした基金として積み立て計画的に助成に回すこととし、従前からあった積立金「緊急助成資金」に、繰越金のうち1億2000万円を積み増して、名称も「緊急等助成資金」に改めた。

令和3年度は、災害等緊急助成実施要領に基づき、緊急等助成資金を取崩して、次の助成を行った。

(1) 災害ボランティアセンター設置・運営費助成(令和3年7月大雨災害)

助成先	事業内容	件数	助成額(円)
沼津市社会福祉協議会 富士市社会福祉協議会	活動用機材購入 レンタカー借り上げ ほか	2件	1,582,997
前年度		—	—

(2) 災害ボランティア活動用機器整備事業

助成先	事業内容	件数	助成額(円)
伊東市社会福祉協議会 ほか	災害活動用機器 収納庫	23件	12,452,519
前年度		14件	7,940,572

(助成一覧は別冊統計資料 39～42ページ)

(3) 新型コロナ対策フードバンク応援事業(詳細は20ページ参照)

助成先	事業内容	件数	助成額(円)
特定非営利法人 フードバンクふじのくに	フードバンク事業(食支援)	1件	4,999,130
前年度		1件	518,603

(4) 伊豆山地区復興コミュニティ支援事業

助成先	事業内容	件数	助成額(円)
熱海市社会福祉協議会	賃借料 通信運搬費 ほか	1件	2,122,000

■緊急等助成資金残高

(単位:円)

前年度末 残 高	当年度積立額 (戻入額を含む)	当年度取崩額	当年度末 残 高
143,402,381	25,000,000	21,156,646	147,245,735

※当資金の適正規模は1億円程度と想定。

3 助成効果の測定と実地監査の実施

助成先から助成事業完了後に「使途実施報告書・交付請求書」の提出を受け、書面により、助成効果の測定と実施状況の監査を行った。



(1) 市町社会福祉協議会による地域福祉活動

- ① 市町社会福祉協議会(抽出で7市町)について、配分委員が事務局を直接訪問又はオンライン訪問し、助成事業の実施状況を調査し、概ね妥当な状況であった。
- ② 市町への助成は、「使途が見えない」との批判があることから、今後の助成に当たっては、支援対象者への直接支援など助成事業にふさわしい内容とするよう指導をした。
- ③ また、赤い羽根共同募金と社会福祉協議会は地域福祉における車の両輪にも例えられることから、地域福祉活動計画の中に赤い羽根共同募金に関する記述を明記するよう指導した。

実地調査実施社協	直接訪問(5件): 牧之原市、島田市、南伊豆町、松崎町、西伊豆町 オンライン訪問(2件): 伊豆市、熱海市
----------	--

(2) 福祉施設機器整備(修繕含む)

- ① 備品・車両等の更新又は整備は、対象者に対する福祉サービスの向上につながるもので、概ね申請の目的が達成されていた。
- ② 経年劣化等による施設設備整備は、設置者において年次計画を立てて実施するものであり、助成に当たっては当該経営主体の財政状況を勘案する必要がある。
- ③ 高額助成案件(200万円以上)については、事務局職員による実地監査(今年度は新型コロナ影響で書面監査)を行った。全助成事業が適正に実施されていたが、納品の方法等に一部不適切な取り扱いが見受けられたため、文書指導を行い、適切な事業執行を指導した。

■実地監査実施状況(助成額200万円以上)

助成年度	事業 実施年度	助成区分	件数	助成金額 (千円)	指摘事項
令和元年度	令和2年度	福祉施設 機器整備	8	19,759	文書指導5件(納品、契約)

(3) 広域活動団体による地域福祉活動

講座、研修等は、福祉サービスの向上につながる人材養成やネットワーク構築に効果が見られた。



第3 新型コロナウイルス感染症への対応

1 コロナ禍での共同募金運動

(1) コロナ禍での目標額(助成計画)の設定

新型コロナウイルス感染症の流行が前年度から継続していたため、コロナ禍が運動に与える影響は前年と同様であると判断し、令和3年度共同募金目標額は、令和2年度と同額に設定した。

(2) 共同募金運動における感染症対策ガイドラインの改訂

令和2年度、中央共同募金会が医師の監修を得て全国統一的に作成した「募金活動実施にあたっての衛生配慮に係るガイドライン」をベースに本会では「感染症対策ガイドライン」を策定した。

令和3年度は、その後の環境の変化を踏まえた改正を中央共同募金会が行ったため、その内容に準拠した「感染症対策ガイドライン(第3版)」を策定し、市町共同募金委員会と内容を共有した。

(3) 令和2年度共同募金による市町社会福祉協議会の地域福祉活動支援事業

① いま必要な事業への柔軟な事業変更～新型コロナ対策事業への活用～

令和2年度の共同募金を財源として、市町社会福祉協議会が令和3年度に実施する地域福祉活動支援事業は、コロナ禍により中止になる事業があるなど、多くの影響が出た。

中止となった事業の助成金は、全国共通助成テーマ「つながりをたやさない社会づくり～あなたは一人じゃない～」の要素を意識した新型コロナ対策事業など「いま必要な事業」へ柔軟に計画変更を行うよう依頼した。

■令和3年度に計画変更したコロナ禍に対応した赤い羽根助成事業(社会福祉協議会) 18社協46事業

事業カテゴリ	事業数	主な事業	内容
わたしたちのまちの福祉に	20	生活困窮者への食支援	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で生活困窮となった世帯を対象に、食糧支援を行う。
		コロナ禍における偏見、差別をなくす取組み	コロナ禍での誹謗中傷など差別をなくし、互いを尊重することを学ぶ講座や取組み。(シトラスリボンプロジェクトなど)
		感染対策	安心して講座やサロン、イベントが開催できる環境整備。(オンライン交流も含む)
		行事等に貸出する機器の整備、貸出	体験、レク活動に対応するため、必要な機材を整備したり、貸出をしたりする。
高齢者を応援する活動	12	ひとり暮らし高齢者見舞金等配布	見守りが必要なひとり暮らし高齢者に対し、お弁当を届けたり、見舞金を配布したりするなどして、民生委員による見守りを実施する。(絵葉書送付なども含む)
		サロン活動など居場所づくり	新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、ふれあいサロンなどを実施し、高齢者の外出及び交流の場を提供する。
		コンビニとの協力による移動販売	決まった曜日と時間に安心して自宅近くで買い物ができる仕組みづくり。
		介護用品無料貸し出し	介護用品の整備及び貸出を行うことで、コロナ禍での移動を支援する。
子育てを応援する活動	10	シングルペアレント等生活困窮者への支援事業	新型コロナ感染症拡大により収入が減少した困窮家庭に、食料や生理用品の支援や見舞金贈呈を行う。(こども食堂など居場所づくり含む)
		交流事業	新型コロナ感染症対策を行った上で、ボランティア講座や映画鑑賞会などを行う。
障害者を応援する活動	4	障害者の孤立を防ぐ工夫	外出の機会が少ない障害者の更なる孤立を防ぐために、車椅子を整備したり、コミュニケーションの手助けとなるカードを作成したりする。(相談会を含む)
		ボランティア活動の推進	切手収集などを通じて障害者団体へ寄付していた事業を、集まって実施するやり方からキットを作成して、各自で行ってもらうよう変更。

② 「年度内精算」による令和4年度事業への再助成

①の事業変更で対応できなかった助成金は、令和4年1月末締めで3月までの執行見込額を含めた精算を行い、2月上旬に本会に残金をいったん返還させ(年度内精算)、返還された助成金は3月下



旬に、改めて令和4年度事業用として当該社会福祉協議会へ再助成した。

2 新型コロナ対策全国キャンペーン参加事業

(1) 新型コロナ対策フードバンク応援事業

令和2年3月から中央共同募金会が行った全国キャンペーン参加事業として、新型コロナウイルス感染症の影響により、十分な食事ができない人たちに食品を無償で提供する「新型コロナ対策フードバンク応援事業」を全国に先駆けて実施し、令和3年度も引き続いて支援を行った。

【財源】当事業への寄付金(中央共同募金会への寄付金を含む)及び本会の緊急等助成資金

① 募金活動

ア 寄付金～「その他の寄付金」として受け入れ

種類	件数	寄付額(円)	摘 要
中央共同募金会助成金	1	1,000	全国キャンペーン経由の寄付金
計	1	1,000	

※(その他)物品寄付:2,132,069 円

② 助成活動

助成日	助成額(円)	助成先
R3.10.22	5,000,000	NPO 法人 フードバンクふじのくに(静岡市葵区駿府町 1-70)
計	5,000,000	

《*参考》事業開始からの総実績

ア 寄付金(令和2年5月8日～令和3年9月30日)

【件 数】 58件

【寄 付 額】 21,670,688 円

イ 物品寄付(令和2年5月8日～令和3年9月30日)

【数 量】 100,005個

【寄 付 額】 11,121,664 円

ウ 助成活動(助成対象期間 令和2年3月18日～令和3年9月30日)

【助 成 回 数】 4回

【助 成 額】 25,000,000円

エ 助成事業の事業実績(令和2年3月23日～令和4年3月31日の739日間)

【提供件数等】 6,934件 6,785世帯 15,383人

【食品提供量】 105,089kg

(2) 新型コロナ対策いのちをつなぐ支援活動事業

令和3年4月から中央共同募金会が行った全国キャンペーン参加事業として、新型コロナウイルス感染症の影響に苦しむ人たちへの相談支援及び居住支援を行う「新型コロナ対策いのちをつなぐ支援活動事業」を実施した。

【財源】当事業への寄付金(中央共同募金会への寄付金を含む)及び本会の緊急等助成資金

① 募金活動

ア 寄付金～「その他の寄付金」として受け入れ (令和3年4月1日～令和3年9月30日)

種類	件数	寄付額(円)	摘 要
募金活動による寄付金	19	181,070	ネット募金ほか
中央共同募金会助成金	1	3,000,000	全国キャンペーン経由の寄付金
計	20	3,181,070	

② 助成活動 (助成対象期間 助成決定日～令和4年3月31日)

No.	団体名	事業名	助成額(円)	精算額(円)
1	(福)浜松いのちの電話	“赤い羽根”いのちをつなぐフリーダイヤル月間(令和3年6月)	500,000	16,918
2	(特非)子ども虐待防止センター・しずおか	“赤い羽根”なう・ホットライン(電話相談・ネット相談)	500,000	500,000



No.	団体名	事業名	助成額(円)	精算額(円)
3	(特非)POPOLO	“赤い羽根”路上・車上生活者のための居住支援	500,000	500,000
4	はままつチャイルドライン	“赤い羽根”チャイルドラインカード配布とオンラインチャット用パソコン整備	483,000	483,000
5	(特非)静岡家庭教育サポート協会	“赤い羽根”チャイルドラインカード配布とオンラインチャット環境整備	500,000	500,000
6	(福)静岡いのちの電話	“赤い羽根”いのちをつなぐ講演会開催	330,000	301,229
7	(福)浜松いのちの電話	“赤い羽根”いのちの電話相談員募集	500,000	500,000
計			3,313,000	2,801,147



第4 その他の活動

1 災害等準備金の状況

社会福祉法第118条に基づき、本県の災害ボランティア活動等(災害救助法が適用された災害が対象)を支援するため募金総額の3%を3年間積み立てている災害等準備金の状況は次のとおりである。

(1) 令和3年度の準備金状況(取崩・積立) (単位:円)

前年度末 残 高	当年度取崩額 (助成額、拠出額を含む)	当年度積立額 (戻入額を含む)	当年度末 残 高
59,720,000	21,806,132	16,996,132	54,910,000
	【内訳】 ・ H30積立分のうち令和3年7月大雨災害で熱海市及び県社会福祉協議会へ拠出 7,000,000 円 ・ H29積立分の取崩 14,806,132円	【内訳】 ・ R3積立分 R3募金総額の3% 15,100,000 円 ・ H29積立分の戻入 R2 他県の豪雨災害への拠出分の戻入分 1,896,132円	【内訳】 H30積立 9,090千円 R1 積立 15,700千円 R2 積立 15,020千円 R3 積立 15,100千円

(2) 災害等準備金のうち平成30年度積立分から下記のとおり助成した。

助成先	助成額(円)	使 途	助成日	備 考
令和3年7月大雨災害(熱海市社会福祉協議会)	4,000,000	災害ボランティアセンターの運営費	令和3年7月5日 令和3年11月25日	H30年度積立分の24.9%
令和3年7月大雨災害(静岡県社会福祉協議会)	3,000,000	災害ボランティアセンターの運営費	令和3年7月5日	H30年度積立分の18.6%

(3) 災害等準備金のうち積立後3年が経過した平成29年度積立分 12,910,000円は取崩し、令和3年度助成財源とした。

(4) 令和2年度に熊本県へ拠出した災害等準備金 3,220,000 円のうち 1,896,132 円が返戻金として戻入されたため、直ちに令和3年度助成財源に編入した。

(5) 年度末には、令和3年度分として15,100,000円を新たに積み立てた。

2 災害義援金の状況

(1) 静岡県の災害義援金

令和3年7月1日から3日にかけての梅雨前線に伴う大雨により、熱海市では土石流により多くの死者が発生して災害救助法が適用されるなど、県東部地域において甚大な被害が発生した。

これを受けて静岡県共同募金会では、静岡県及び日本赤十字社静岡県支部と調整の上、この災害により静岡県で被災された方々を支援することを目的に義援金を募集した。義援金は県から市町を通じて令和4年3月末をもって被災者への配分を完了した。(中央共同募金会からの業務支援資金 241,150 円)

① 概要

名 称	令和3年7月大雨災害静岡県義援金
受 付 期 間	令和3年7月8日(木)～令和3年10月31日(日) (本会は10月29日(金)まで)
受付実施団体	静岡県、社会福祉法人静岡県共同募金会及び日本赤十字社静岡県支部
受 付 方 法	指定金融口座への振込又は各機関(静岡県を除く)の窓口 (※義援金のみを受け入れとし、物資の寄付は受け入れしない)

② 受付状況

受付実施団体	受付金額	受付件数
静岡県	108,461,829円	281件(利息含む)
(福)静岡県共同募金会	133,340,275円	4,445件
日本赤十字社静岡県支部	264,072,066円	652件
合 計	505,874,170円	5,378件



③ 配分状況

上記受付金額505,874,170 円について、以下のとおり配分を決定した。

ア 令和3年7月大雨災害静岡県義援金募集・配分委員会の概要

開催回数	全4回：第1回 令和3年7月8日開催(書面審議) 第2回 令和3年9月10日開催 第3回 令和3年11月16日開催 第4回 令和4年3月16日開催(書面審議)
配分方法	公平・適切な配分のため委員会にて配分基準等を定め、市町を通じて配分する。
委員会の構成団体	静岡県市長会町村会総合事務局、(福)静岡県社会福祉協議会、 (福)静岡県共同募金会、日本赤十字社静岡県支部、日本放送協会静岡放送局、 公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団、静岡県

イ 配分結果(13市町)

(単位:千円)

対象市町	配分総額	対象市町	配分総額	対象市町	配分総額
熱海市	445,064	長泉町	870	伊豆の国市	290
沼津市	44,710	御殿場市	210	島田市	30
富士市	9,010	裾野市	150	森 町	30
伊東市	3,240	静岡市	320		
三島市	1,630	函南町	320	合計	505,874

ウ 差引額の取り扱い

受付金額から配分総額を差し引いた金額(差引額)については、災害救助法適用の熱海市に配分した。

(2) 全国の義援金募集要綱を市町社会福祉協議会に周知した。 14 件

3 共同募金以外の特定寄付金、指定寄付金の受入れと助成

(1) 特定寄付金、指定寄付金

税制上の優遇措置を希望する共同募金以外の特定寄付金、指定寄付金については、前年度に引き続き実績はなかった。

4 他団体助成事業の受託事務

(1) 公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団助成事業の推薦事務

中央競馬馬主社会福祉財団から中央共同募金会を通じて委託を受け、当財団の助成を要望する施設を募集し審査のうえ、次のとおり推薦した。(業務委託費 205,000 円)

施設名	所在地	助成額(円)	使途指定内容
ごうでいんぐ岩ヶ原(就労継続支援B型事業所他)	富士市	1,940,000	送迎車両
認定子ども園西方保育園(保育所)	菊川市	3,150,000	総合遊具
いばき(就労継続支援B型事業所)	袋井市	180,000	堆肥カッター
計 (3)		5,270,000	
前年度 (4)		5,260,000	

(2) 公益財団法人車両競技公益資金記念財団助成事業の申請受付事務

車両競技公益資金記念財団から中央共同募金会を通じて委託を受け、当財団の助成を要望する施設・団体の募集及び申請書の受付業務を代行した。(業務委託費 205,000 円)

施設・団体名	所在地	助成額(円)	使途指定内容
瑞雲こども園	浜松市	4,000,000	園舎1階トイレ改修
葉梨第2自治会ふれあいサロン梨花	藤枝市	不採択	電子ピアノ
ほっと会	藤枝市	不採択	カラー複合機リース
元宮町自治会福祉委員会	磐田市	不採択	プリンター、ノートパソコン他
要約筆記サークルOHP ふじ	富士市	171,000	プロジェクター、書画カメラ
計 (2)		4,171,000	
前年度 (7)		1,383,800	



5 顕彰活動

(1) 令和3年度全国社会福祉大会における表彰

令和3年度全国社会福祉大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催されなかったが、本県関係では次のとおり表彰状を伝達した。

① 厚生労働大臣表彰(1 件)

表彰区分	件数	条件	備考
共同募金運動奉仕団体	1 団体	20 年以上	

② 中央共同募金会会長表彰(5件)

表彰区分	件数	条件	備考
優良地区・団体	5 団体	10 年以上	

(2) 令和3年度静岡県健康福祉大会と表彰

ふじのくに健康福祉キャンペーン推進協議会の主催による令和3年度静岡県健康福祉大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催されなかったが、次のとおり表彰状を伝達した。

① 静岡県知事褒賞(1 件)

表彰区分	件数	条件	備考
共同募金運動奉仕団体	2 団体	15 年以上	

② 静岡県共同募金会会長表彰(31 件)

表彰区分	件数	条件	備考
募金ボランティア個人	7 名	3 年以上	
募金ボランティア団体	23 団体	〃	
募金ボランティア地区	3 地区	〃	

(3) その他の顕彰(137 件)

表彰区分	件数	条件	備考
厚生労働大臣感謝状	2 件	個人100万円以上、 団体300万円以上	個人 1 件、団体 1 件
中央共同募金会会長感謝楯	4 件	個人 50 万円以上、 団体 100 万円以上	団体 4 件
中央共同募金会会長感謝状	5 件	個人20万円以上、 団体60万円以上	個人 1 件、団体 4 件
静岡県共同募金会会長感謝状	126 件	5 万円以上	



第3部 法人運営

第1 会務の運営

1 理事会

開催時期・会場	審議事項	備考
【第289回】 令和3年5月24日(月) 静岡県総合社会福祉会館 5階集会室 (定足数) 総数11名(定員9～11名) 出席者9名 ※監事 2名出席	【報告事項】 (1)定款第24条ただし書きにより会長が専決した事項の報告について ①令和2年度課題解決プロジェクト募金の助成措置 ②令和2年度共同募金(一般募金)への寄付物品による助成措置 ③令和3年度新型コロナウイルス対策のちをつなぐ支援活動事業の助成措置 ④職員の採用 (2)知事報告について (3)実地監査結果の報告について (4)役員等賠償責任保険契約の加入について 【決議事項】 第1号議案 評議員選任・解任委員会委員の補欠選任について 第2号議案 評議員候補者(補欠)の推薦について 第3号議案 次期評議員候補者の推薦について 第4号議案 評議員選任・解任委員会の招集について 第5号議案 次期理事候補者の提案について 第6号議案 次期監事候補者の提案について 第7号議案 令和2年度事業報告の承認について 第8号議案 令和2年度計算書類等の承認について 第9号議案 定時評議員会の招集について 第10号議案 令和3年度共同募金(一般募金)広域目標額(市町共募扱い)について	・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議
【第290回】(決議の省略) 令和3年6月1日(火) 総数11名(定員9～11名) 同意11名(書面) ※監事 2名異議なし(書面)	【決議事項】 第1号議案 次期理事候補者の追加提案について	・原案どおり決議
【第291回】 令和3年6月15日(火) 静岡県総合社会福祉会館 5階集会室 (定足数) 総数11名(定員9～11名) 出席者9名 ※監事 2名出席	【報告事項】 (1)評議員の選任について (2)外部監査契約の継続について (3)定款第24条ただし書きにより会長が専決した事項の報告について ①災害支援制度実施要領の一部改正 (4)第173回評議員会(令和3年度定時評議員会)の結果について 【決議事項】 第1号議案 会長、副会長及び常務理事の選定について 第2号議案 配分委員会委員の補欠選任について 第3号議案 諸規程の一部改正について (1)災害緊急助成実施要領の一部改正 (2)嘱託員の身分等取扱規程の一部改正 第4号議案 役員報酬等規程の一部改正及び評議員会の招集について	会 長 後藤康雄 副会長 梶谷 浩 副会長 杉本 正 副会長 榊原昭雄 常務理事 影島秀明 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議
【第292回】 令和3年7月15日(木) 静岡県総合社会福祉会館	【報告事項】 (1)会長及び常務理事の職務執行状況の報告について (2)定款第24条ただし書きにより会長が専決した事項の報告に	

[illegible]



2 評議員会

開催時期・会場	審議事項	備考
【第173回(定時)】 令和3年6月15日(火) 静岡県総合社会福祉会館 601会議室 (定足数) 総数14名(定員12~14名) 出席者12名 ※会長、常務理事出席 ※監事2名出席	【報告事項】 (1)令和2年度事業報告について 【決議事項】 第1号議案 令和2年度計算書類等の承認について 第2号議案 理事11名の選任について 第3号議案 監事2名の選任について	・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議
【第174回】(決議の省略) 令和3年6月21日(月) 総数14名(定員12~14名) 同意14名(書面)	【決議事項】 第1号議案 役員報酬等規程の一部改正について	・原案どおり決議

3 監事監査

開催時期・会場	審議事項	備考
令和3年5月13日(木) 静岡県総合社会福祉会館 5階生活訓練室 監事2名出席(定員2名)	1 令和2年度の理事の職務の執行の監査 2 令和2年度の業務及び財産の状況の監査 ※公認会計士兼高則之氏による「独立監査人の監査報告書」は 令和3年6月15日受理	事業の適正・計算 関係書類及び財 産目録の適正が 認められた。

4 評議員選任・解任委員会

開催時期・会場	審議事項	備考
【第79回】 令和3年5月24日(月) 静岡県総合社会福祉会館 5階集会室 (定足数) 総数5名(定員5名) 出席者4名	【審議事項】 第1号議案 評議員の補欠選任について 第2号議案 次期評議員の選任について	・原案どおり決議 ・原案どおり決議

5 配分委員会

開催時期・会場	審議事項	備考
【第61回】(決議の省略) 令和3年7月7日(水) 総数13名(定員13名) 同意13名(書面)	【報告事項】 (1)令和2年度共同募金運動の実績について (2)配分委員会規程第8条第7項により委員長が専決した事項の報告について ①令和2年度課題解決プロジェクト募金による助成措置 ②令和2年度共同募金(一般募金)への寄付物品による助成措置 ③令和3年度共同募金(一般募金)への寄付物品による助成措置 ④令和3年度新型コロナ対策いのちをつなぐ支援活動事業による助成措置 ⑤災害支援制度実施要領の一部改正 ⑥災害緊急助成実施要領の一部改正 (3)実施監査結果の報告について (4)職員の採用について (5)配分委員会規程第8条第7項により委員長が専決した事項の報告について ①令和3年7月大雨災害に対する災害等準備金の助成措置 【審議事項】 第1号議案 委員長の選出について	委員長 梶谷 浩



開催時期・会場	審議事項	備考
	第2号議案 令和3年度(第71回)NHK歳末たすけあいの助成方針について 第3号議案 令和3年度課題解決プロジェクト募金の実施について 第4号議案 令和3年度共同募金の助成計画について 第5号議案 令和3年度全国キャンペーンに対応した助成事業実施要領の一部改正について 第6号議案 令和3年度(公財)中央競馬馬主社会福祉財団助成事業に係る推薦について 第7号議案 災害見舞金贈呈要領の一部改正について	・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認
【実地調査】 令和4年1月7日から 令和4年2月7日まで (延べ16日間)	配分委員13名により、令和3年度共同募金による助成事業に申請のあった63施設、グループ、団体の実地調査(新型コロナの影響で調査4日目から書面審査に変更)を実施した。	
【第62回】(決議の省略) 令和3年3月1日(火) 総数13名(定員13名) 同意13名(書面)	【報告事項】 (1)令和3年度共同募金運動の状況について (2)配分委員会規程第8条第7項により委員長が専決した事項の報告について ①令和3年度地域歳末たすけあい募金による助成措置 ②令和3年度共同募金(一般募金)への寄付物品による助成措置 (3)新型コロナ対策フードバンク応援事業の実施状況の報告について (4)新型コロナ対策いのちをつなぐ支援活動事業の実施状況の報告について (5)令和3年7月大雨災害への対応状況の報告について 【審議事項】 第1号議案 令和3年度共同募金(一般募金)による助成について 第2号議案 令和3年度地域歳末たすけあい募金の剰余金による助成について 第3号議案 令和3年度(第71回)NHK歳末たすけあいによる助成について 第4号議案 令和3年度災害ボランティア活動用機器整備事業の助成について 第5号議案 緊急等助成資金規程第1条に定める地域福祉活動への助成について 第6号議案 災害ボランティア活動用機器整備事業実施要領の一部改正について 第7号議案 令和4年度助成要綱の制定について 第8号議案 令和4年度全国キャンペーンに対応した助成事業の創設について 第9号議案 災害等準備金(平成30年度積立分)の取崩について	・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認

6 本会開催の会議等

会議名	開催時期	対象者
市町共同募金委員会事務担当者打合せ	9月21日(火) (オンライン)	35市町共募
web 勉強会 part1「募金事務」事務処理要領	10月12日(火) (オンライン)	市町共募職員 13名 (対象:事務経験1～2年目の職員)
助成金交付説明会	3月29日(火)	助成先56施設・団体



第2 その他の会務の運営

1 関係機関との連携

(1) 中央共同募金会主催の会議等

会議名	開催時期	対象者
都道府県共同募金会職員研修会	5月11日(火)、12日(水)、13日(木)、18日(火)(オンライン)	主事
	1月24日(月)、2月14日(月)(オンライン)	主事
中央共同募金会評議員会	6月18日(金)(オンライン)	常務理事
	3月4日(金)(オンライン)	
都道府県共同募金会常務理事・事務局長会議	7月6日(火)(オンライン)	欠席
	2月8日(火)(オンライン)	常務理事、事務局長
令和3年度赤い羽根共同募金運動開始オンライン集会	9月27日(月)(オンライン)	全職員
関東ブロック意見交換会(※)	9月1日(水)(オンライン)	常務理事、事務局長
	1月17日(月)(オンライン)	
「with コロナ時代を支える社会貢献セミナー」2021	11月30日(火)(オンライン)	全職員

※従来は関東ブロック主体で実施していたが、令和3年度は中央共同募金会の主催で実施

(2) 社会福祉協議会主催の会議

会議名	開催時期	参加者
市町社会福祉協議会新任事務局長研修会	4月23日(金)(オンライン)	常務理事
市町社会福祉協議会事務局長会議	5月25日(火)	事務局長
市町社会福祉協議会中部地区連絡会	7月14日(水)	常務理事、事務局長
	3月11日(金)	常務理事、事務局長
西部ブロック社会福祉協議会連絡会	7月30日(金)	常務理事
	11月25日(木)	主事
	2月21日(月)	伝達のみ

(3) 外部研修

会議名(主催)	開催時期	参加者
職員接遇研修(静岡県社会福祉協議会)	5月28日(火)	主事
社会福祉法人簿記入門講座(静岡県社会福祉協議会)	6月25日(金)～6月30日(水)(オンライン)	主事
監事監査研修(静岡県社会福祉協議会)	4月21日(水)～5月9日(日)(オンライン)	萩原監事、事務局長

2 共同募金運動募金経費

昭和42年9月19日付社庶第340号厚生省社会局長通知の求める“経費率概ね10%”を達成するために、寄付物品の受け入れなど新たな募金手法にも挑戦し募金総額の増加につなげるとともに、募金経費は常にその内容を分析・精査し、必要最小限で最大の効果を上げるよう努めた。

年度	募金経費	経費率 (募金総額に対する募金経費)	内 容
3年度	66,860,781円 (うち市町共同募金委員会経費 15,831,219円)	12.96%	人件費、事業費、事務費、 中央共同募金会分担金、 減価償却費ほか
前年度	70,988,638円 (うち市町共同募金委員会経費 17,559,776円)	13.94%	同上

3 社会福祉法人指導監査

社会福祉法第56条に基づく所轄庁(静岡市)による社会福祉法人指導監査は、5年に1回の周期で行われるので、今年度は対象外であった。なお、次回は令和6年度予定である。



第3 社会福祉法人静岡県共同募金会役員等名簿

1 理事・監事

[令和4年3月31日現在] 理事定数9～11名(現員11名) 監事定数2名(現員2名)

役職名	氏 名	役職名	氏 名
会長(理事)	後 藤 康 雄	理事	田 口 博
副会長(理事)	梶 谷 浩	//	鈴 木 寿 一
副会長(理事)	杉 本 正	//	角田裕之介
副会長(理事)	柿 原 昭 雄	常務理事	影 島 秀 明
理事	渡 邊 泰 明	監事	廣 瀬 清 久
//	芹 澤 和 代	//	萩 原 綾 子
//	山 城 厚 生		

2 評議員

[令和4年3月31日現在] 評議員定数12～14名(現員14名)

役職名	氏 名	役職名	氏 名
評議員	中 村 泰 昌	評議員	岩 崎 康 江
//	窪 田 賢 一	//	秋 山 辰 巳
//	柳 川 実	//	天 野 崇 志
//	塩 崎 克 幸	//	中 西 清 文
//	芦 川 清 司	//	戸野谷 宏
//	高 山 茂 宏	//	田 中 尚 弘
//	廣 野 篤 男	//	渡 邊 順 子

3 評議員選任・解任委員会委員

[令和4年3月31日現在] 委員定数5名(現員5名)

役職名	氏 名	役職名	氏 名
委 員(外部委員)	池 田 幸 男	委 員	萩 原 綾 子
//	佐々木希世子	//	藤原由佳子
//	瀧 本 壽 信		

4 配分委員会委員

[令和4年3月31日現在] 委員定数13名(現員13名)

役職名	氏 名	役職名	氏 名
委員長	梶 谷 浩	委 員	日 詰 一 幸
副委員長	影 島 秀 明	//	高 山 茂 宏
委 員	角田裕之介	//	渡 辺 東 作
//	秋 山 辰 巳	//	野 村 諒 子
//	鈴 木 亨	//	天 野 崇 志
//	藤 森 昌 彦	//	勝間田和子
//	瀧 昌 光		

5 職 員

[令和4年3月31日現在]

役職名	氏 名
常務理事	影 島 秀 明
事務局長	藤原由佳子
主 事	杉 山 大 輔
嘱託員	村 田 明 子
//	石川ひろみ
調査専門員	大 野 彰 彦

【事務所所在地】

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1番70号
 静岡県総合社会福祉会館シズウェル4階
 TEL 054-254-5212 FAX 054-254-6400
 e-mail 22@shizuoka-akaihane.or.jp
 URL <http://www.shizuoka-akaihane.or.jp/>